

日伯新聞

發行所 日伯新聞社

本紙定期
登録年 武拾五ミル
半ヶ年 捨三ミル

聖市
郵局 三七五

エラストデカストロ街十八番

内務省衛生局では國民の健康保全につき考慮してあるが今回着手すべく豫算を計上した

保健の秘策募集

内務省衛生局では國民の健康保全につき考慮してあるが今回着手すべく豫算を計上した

過般の開議に於て

改正即ち婦人をして市長村會議員に選舉せしむるの請願は否決された

婦人參政請願否決

過般の開議に於て

雨意漫語

〔二〕

安田生

○自分が上だと思つて下を引き上げやうとする何だか爲にするやうに思はれるのは植民地に於て殊に然りで、餘程の修養と實力が無ければ最後迄してやうと思つてゐた事が出来ない。終に力が及ばんで我ら人も沈む結果が悪い、親切が通らない、引上げてやうと思つたら夫れだけの方が必要である。實際今日本の植民地にそんな力を持つた人が幾人あるだらうか、無いか悪く云へば有りさうな人がかづがれて行つてやる、最初から頼む方でも頼まれる方でも確信がない、總てが試験的である、全力を盡さぬ所以であつ、僕倅事が成つたとする、彼の人の力でなかつたと云ひ、成らざればこんな事に成るだらうと思つてゐたと云ふ、最初から信じ頼みられた手をたゞいて笑ふ、困つたものだ。

○實際今日迄の同邦植民地では上下を通じて心を沈め、思を凝らし内に顧みて後事を決したのでない、精神的修養と物質的の實力を得て後着實に進行したのではない、深思熟慮の爲めに時間を使ひだるのである、輕舉して跋躡し爲めに徒費する時間はより大なる事を思はなかつたのである。

○權謀詐、以て利益を射んべ欲する人と浮躁輕薄以て名譽を貪らんと企つてゐる、一般から見て或は然らむ、然し困つてるのは廣く言へば世界一般で決してノルエステばかりでない、是迄の聲が大きかつた丈夫

○ノルエステが困つてゐる、一般から見て或は然らむ、然し困つてるのは廣く言へば世界一般で決してノルエステばかりでない、是迄の聲が大きかつた丈夫

○暖さ 雨だれの音暖かき春の宵 東南 旭童 蝶哉

○鳥の巣 二三間飛んで又飛ぶ巣立鳥、坊

館旅本日

前驛ルウバ翁西北

平心山沖

百姓を苦めるのは何より困る。ノルエステの土地は昔ながらの土地であり、珈琲も綿も出来るけり

金魚賣りの聲して初夏は知られ

房盛りを藻縫に沈む金魚哉露骨

内田

金魚賣りの聲して初夏は知られ

房盛りを藻縫に沈む金魚哉露骨

●寄附者芳名

日本品ご入用の際は先づ
「セキ」へお立寄り下さ

瀬木商店

聖市 コンセレイロフルタード街十二番
電話 セントラル 三八三七

卷之三

卷之三

日本郵船會社御用達

食糧並二公舶賣入業

ヤマ力合資商會

前田洋
合同經營

ルチングアフオンソ街四十一番
セントラール一九七三番

卷之三

備の永住の精神を

支那時代の要事に關する

卷之三

地民相

理想的殖民地生活

Alberto Primo, S. Paulo

ixia [Postal] 25

L. Sorocabana

其多ニセハ才也

卷之三

